

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	教育・研究グループ	担当部署	加計委員	分析項目	全学的教育方針の形成
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム委員会の運営方針 意見集約の方法 議題として上がった課題 実行された議題 課題 					
分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
<ul style="list-style-type: none"> 実態はどうか？ 現状をどう評価するか？ 不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？ 					
<ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 					
<p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p> <p>http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf</p>					
提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。					
Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc					
Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf					
河島（教務）: kawashimay@tamabi.ac.jp			提出期日		2004.6.30
渡邊（教務）: watanabeyumi@tamabi.ac.jp					

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小委員会	教育・研究グループ	担当部署	各学科研究室	分析項目	各学科の見直し
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
<p>上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。</p> <p>各学科が掲げる教育目標</p> <p>カリキュラム構成</p> <p>教育効果</p> <p>専任教員と非常勤教員の役割</p> <p style="padding-left: 20px;">～ を行うにあたっての意思疎通</p> <p>外国人留学生、交換留学生（受入・派遣）の受入態勢</p> <p>研究活動（今回は教育活動にリンクしたものとのみとします＜ex．産官学共同研究など＞。教員個人の研究活動は除きます。）</p> <p>就職支援（キャリア形成を踏まえたカリキュラム、就職相談）</p> <p>課題</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <p>・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。</p> <p>・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。</p> <p>・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。</p> <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」グループ報告の書式 書式」に従って下さい。</p> <p>http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	河島（教務）: kawashimay@tamabi.ac.jp 渡邊（教務）: watanabeyumi@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小委員会	教育・研究グループ	担当部署	教務、造形事務	分析項目	入学試験
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
<p>各入学試験の狙い（学長に聞き取り）</p> <p>各入学試験の結果（志願者、受験者、合格者、入学者数）</p> <p>各入学試験の受験者層（入試の狙いに対応した受験者であるか？）</p> <p>課題</p>					
<p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
<p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel アイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 					
<p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p>					
<p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p>					
Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc					
Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf					
提出先	河島（教務）: kawashimay@tamabi.ac.jp 渡邊（教務）: watanabeyumi@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小委員会	教育・研究グループ	担当部署	国際交流委員会	分析項目	国際化
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
国際交流委員会の運営方針 交流実績 留学生の受け入れ体制 交換留学生（派遣、受入）の制度上の支援体制＜単位認定、帰国後のフォローアップ等＞ 課題					
分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
実態はどうか？ 現状をどう評価するか？ 不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel アイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 					
ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf 」に従って下さい。					
http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf					
提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。					
Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf					
提出先	河島（教務）: kawashimay@tamabi.ac.jp 渡邊（教務）: watanabeyumi@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小委員会	教育・研究グループ	担当部署	教務、造形事務	分析項目	共同研究
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
<p>上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。</p> <p>共同研究の目的</p> <p>採択基準、採択の手続き</p> <p>採択実績</p> <p>研究成果の公表</p> <p>課題</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel アイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	河島（教務）: kawashimay@tamabi.ac.jp 渡邊（教務）: watanabeyumi@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	学生支援グループ	担当部署	学生課・造形事務	分析項目	学生の意識、就学支援
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
<p>学生生活調査（文科省、大学独自）の結果、学生相談室の利用状況・相談内容（プライバシーの範囲内で）窓口相談の蓄積</p> <p>上記結果に基づく学生支援の目標</p> <p>実行した学生支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資金的支援（奨学金、減免制度） ・ 学生生活支援（住居の紹介、課外活動・ボランティア等のバックアップ、学生生活の向上、アルバイトの紹介） ・ 精神、健康支援（保健室、学生相談室） <p>課題</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
<p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点を確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <p>・ 分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。</p> <p>・ グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。</p> <p>・ 各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。</p> <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に倣って下さい。</p> <p>http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	伊藤（学生課）: itotae@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	学生支援グループ	担当部署	就職課	分析項目	学生の意識、就学支援
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
<p>学生支援の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の就職意識および就学構造の変化 ・学内一元化への努力 <p>学生の進路選択への指導</p> <p>進路・就職指導の支援体制（キャリア形成へ向けての支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生全体に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ア) 進路、就職ガイダンス、各就職講座の実施など イ) 会社説明会、OB交流会の実施 ・学生ひとりひとりへの個別支援 <ul style="list-style-type: none"> ア) 就職相談、面接の実施 イ) 就職資料室の活用（造形表現学部フォロー） エ) HP（インターネット掲示板）の利用開始 オ) 特別な支援を要する学生への対応 <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
<p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <p>・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。</p> <p>・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。</p> <p>・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。</p> <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「 .グループ報告の書式 書式」に従って下さい。</p> <p>http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	伊藤（学生課）: itotae@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	施設グループ	担当部署	キャンパス設計室	分析項目	キャンパス整備の歴史と将来構想
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
<p>田淵先生に下記の章立てで「キャンパス整備の歴史と将来構想」を記述して貰います。</p> <p>工事実績については、事務担当が取りまとめてデータを作成する。</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「キャンパス整備の歴史と将来構想」の「グループ報告の書式 書式」に従って下さい。</p> <p>http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	杉本(総務): sugimoto@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	社会貢献グループ	担当部署	図書館、美術館、 MC	分析項目	各附属施設の現状・実績
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
<p>各附属施設の運営方針</p> <p>各附属施設の特徴</p> <p>社会に対する活動内容の実績（利用者数、活動内容）</p> <p>社会との活動のリンク</p> <p>利用者からの不都合に対する意見</p> <p>課題</p> <p>美術館は「学生の果たす役割」についても現状分析を行って下さい。</p>					
<p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
<p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 					
<p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p>					
<p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p>					
Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc					
Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf					
提出先	米山（教務）: yoneyamah@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	社会貢献グループ	担当部署	MC	分析項目	産官学共同研究
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
<p>上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。</p> <p>産官学共同研究に対する本学の考え方</p> <p>産官学共同研究の特徴</p> <p>産官学共同研究の活動実績（研究数、金額、学科構成など）</p> <p>学生と社会に対する効果</p> <p>産・官・学からの意見</p> <p>課題</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点を確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <p>・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。</p> <p>・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。</p> <p>・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。</p> <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	米山（教務）: yoneyamah@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	社会貢献グループ	担当部署	生涯学習センター	分析項目	生涯学習活動
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考にして現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
<p>上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。</p> <p>生涯学習活動の運営方針</p> <p>生涯学習活動の特徴</p> <p>生涯学習活動の実績（講座数、講座構成、講師構成、受講者数、受講者構成）</p> <p>学生の果たす役割</p> <p>受講生の意見</p> <p>課題</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <p>・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel アイルの形式にして下さい。</p> <p>・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。</p> <p>・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。</p> <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	米山（教務）: yoneyamah@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	社会貢献グループ	担当部署	教務	分析項目	高(中、小)大連携
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下を参考に現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づく分析を行って下さい。</p> <p>良い点、悪い点、その原因、改善案のポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、以下の視点に留意して下さい。</p> <p>ア) 目標は何か？その解釈について部署内でコンセンサスが得られているか？</p> <p>イ) プログラムは目標に関連づけられているか？プログラムやサービスは有効に機能しているか？</p> <p>ウ) 問題が起こった場合、どのように解決し得るか？</p>					
現状分析項目					
<p>上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。</p> <p>連携の運営方針</p> <p>連携の目的と実績（受入校数、受入者数）</p> <p>連携についての要望と意見</p> <p>課題</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	米山(教務): yoneyamah@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	入学・卒業グループ	担当部署	企画広報	分析項目	志望者、受験生の動向
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下に留意して現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とせず、長期的な推移が分かるようにして下さい(改組などのトピックの区切りごとで)。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>分析は主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基いて下さい。</p> <p>ポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、分析内容について部署内でのコンセンサスが得られたものであるか。</p>					
現状分析項目					
<p>上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。</p> <p>18歳人口と全国の大学、主要美術大学の志願者数の推移</p> <p>本学の志願者数の推移</p> <p>入学定員超過率と繰上げ人数の推移</p> <p>オープンキャンパス、進学相談会での受験者アンケートの集計</p> <p>予備校、受験者からの問い合わせ集計</p> <p>志願者数の多寡に関する分析(学科間、他大学間の特色と志願者数の関係)</p> <p>分析結果の利用状況と今後の利用</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWordファイル、グラフ・データなどはExcelファイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	米山(企画広報): yoneyamak@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	入学・卒業グループ	担当部署	就職課	分析項目	就職の動向
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下に留意して現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とせず、長期的な推移が分かるようにして下さい。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>分析は主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づいて下さい。</p> <p>ポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、分析内容について部署内でのコンセンサスが得られたものであるか。</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
求人数、就職率、産業別の就職実績の推移（学科ごとの特徴） 学生のキャリア意識 求人先が求める学生像 学生の希望と求人内容の関係 卒業生の評価					
分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
実態はどうか？ 現状をどう評価するか？ 不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？					
<ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 					
ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf .グループ報告の書式 書式」に従って下さい。					
http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf					
提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。					
Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf					
提出先	米山（企画広報）: yoneyamak@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	管理運営グループ	担当部署	総務	分析項目	事務組織の見直し
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
上記本学における教育の基本理念に照らし、以下に留意して現状分析を行って下さい。					
<p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>分析は主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基いて下さい。</p> <p>ポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、分析内容について部署内でのコンセンサスが得られたものであるか。</p>					
現状分析項目					
上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。					
<ul style="list-style-type: none"> 業務量調査の結果 人員配置の適正 管理職者のマネージメント能力 雇用ポートフォリオの実施状況 将来のニーズを見据えた事務組織改革と求められる人材 課題 					
分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf					
報告方法					
上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。					
<ul style="list-style-type: none"> 実態はどうか？ 現状をどう評価するか？ 不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？ 					
<ul style="list-style-type: none"> ・分析本文はWord ファイル、グラフ・データなどはExcel ファイルの形式にして下さい。 ・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。 ・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。 					
<p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p>					
<p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf 版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	石井（総務）: ishiw@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」現状分析シート

担当小部会	管理運営グループ	担当部署	総務	分析項目	経営と教学の意思決定
本学における教育の基本理念					
別紙「本学の理念」参照 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/rinen.pdf					
分析を行う上での注意！！					
<p>上記本学における教育の基本理念に照らし、以下に留意して現状分析を行って下さい。</p> <p>分析対象は、2000.4.1～2004.3.31の間とします。</p> <p>分析を行う際には、必ず「基本的考え方について」を良く読んで下さい。</p> <p>分析は主観的記述ではなく、何らかのデータや事実に基づいて下さい。</p> <p>ポイントを絞り明確に記述して下さい。</p> <p>分析を行うにあたって、分析内容について部署内でのコンセンサスが得られたものであるか。</p>					
現状分析項目					
<p>上記分析ポイントに基づき、以下の項目を参考に分析を行って下さい。</p> <p>理事会、評議員会、教授会、部課長会、各種部会、委員会の規程上の位置付け（権限と責任）</p> <p>理事会、評議員会、教授会、部課長会、各種部会、委員会で議論された議題と実施状況</p> <p>未実施であることの制度上の問題点（個別事情による未実施は含まず）</p> <p>経営と教学の意思決定を行うにあたり求められる体制</p> <p>分析項目は、各担当部署により項目追加を行っても構いません。但し、「基本的考え方」の趣旨から外れないこと、グループ報告にまとめる必要があることを前提として下さい。 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/kihon.pdf</p>					
報告方法					
<p>上記分析項目ごとに、以下の章立てを行って下さい。</p> <p>実態はどうか？</p> <p>現状をどう評価するか？</p> <p>不十分な点が確認された場合、どう対処しようとするのか？</p> <p>・分析本文はWordファイル、グラフ・データなどはExcelファイルの形式にして下さい。</p> <p>・グラフを作成した場合は、グラフの画像だけでなくグラフの元データも提出して下さい。</p> <p>・各担当者から提出された分析は、グループ報告書としてとりまとめます。グループ報告のとりまとめが可能なようにポイントを絞り明確にして下さい。</p> <p>ファイル形式の詳細は、書式のまとめ方「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」.グループ報告の書式「http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf」に従って下さい。</p> <p>http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2m.pdf</p> <p>提出された材料は、以下の形式でグループ報告として纏められます。画像形式など参考にして下さい。</p> <p>Word版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.doc</p> <p>Pdf版 http://www.tamabi.ac.jp/accredit/sample2.pdf</p>					
提出先	石井（総務）: ishiw@tamabi.ac.jp			提出期日	2004.6.30